

ヒル事ナケレバ、如形人ノ口中ヲ濡サン事、相違アルマジケレドモ、合戦ノ最中ハ、或ハ火矢ヲ消  
ガシ爲、又喉ノ乾ク事繁ケレバ、此水計ニテハ、不足ナルベシトテ、大ナル木ヲ以テ、水舟ヲ二三百  
打セテ、水ヲ湛置タリ、又數百箇所作リ、雙タル役所ノ軒ニ、繼樋ヲ懸テ、雨フレバ雷モ少シモ餘サ  
ズ舟ニウケ入レ、舟ノ底ニ赤土ヲ沈メテ、水ノ性ヲ損ゼヌ様ニゾ拵ケル、此水ヲ以テ、縦ヒ五六十  
日雨不降トモコラヘツベシ、其中ニ又ナドカハ、雨降事無ラント了簡シケル、智慮ノ程コソ淺カ  
ラ、子○中

新田義貞賜綸旨事

上野國住人新田小太郎義貞○中 或時執事船田入道義昌ヲ近ツケテ宣ヒケルハ、○中 船田入道  
畏テ、大塔宮ハ此邊剛山ノ山中ニ忍テ、御座候ナレバ、義昌方便ヲ廻シテ、急デ旨ヲ申出シ候ベ  
シト、事安ゲニ領掌申テ、己ガ役所ヘゾ歸ケル、其翌日、船田己ガ若黨ヲ三十餘人、野伏ノ質スカタニ出立  
セテ、夜中ニ葛城峯ヘ上セ、我身ハ落行勢ノ眞似ヲシテ、朝マダキノ霧隱ニ、追ツ返シツ半時計、同  
士軍ヲゾシタリケル、宇多内郡ノ野伏共是ヲ見テ、御方ノ野伏ゾト心得、力ヲ合セン爲ニ、餘所ノ  
峯ヨリオリ合テ近付タリケル處ヲ、船田ガ勢ノ中ニ取籠テ、十一人マデ生捕テケリ、船田此生捕  
ドモヲ解脫シテ潛ニ申ケルハ、今汝等ヲタバカリ搦取タル事、全誅セン爲ニ非ズ、新田殿本國ヘ  
歸テ、御旗ヲ舉ントシ給フガ、令旨ナクテハ叶マジケレバ、汝等ニ大塔宮ノ御坐所ヲ尋問ン爲ニ  
召取ツル也、命惜クバ案内者シテ、此方ノ使ヲツレテ、宮ノ御座アンナル所ヘ參レト申ケレバ、野  
伏共大ニ悅テ、其御意ニテ候ハ、最安カルベキ事ニテ候、此中ニ一人暫ノ暇ヲ給候ヘ、令旨ヲ申  
出テ進セ候ハント申テ、残り十人ヲバ留置、一人宮ノ御方ヘトテゾ參ケル、今ヤノト相待處ニ、  
一日有テ令旨ヲ捧テ來レリ、

〔太平記 三十七〕新將軍、京落事